

CASBEE[®]新潟 | 評価結果 |



■使用評価マニュアル: CASBEE新潟マニュアル、CASBEE-新築(簡易版)2008年版
 ■使用評価ソフト: CASBEE新潟(v.1.2)

1. 建物概要

建物名称 建設地 用途地域 建物用途 竣工年 敷地面積 建築面積 延床面積 階数 構造 評価の段階 評価の実施日	中越運送線新潟東港ロジスティクスセンター国際事業部倉庫 北区 笹山東19番地 外2筆 準工業地域、防火地 工場, 2011年12月 予定 3,175.85 m ² 2,257.50 m ² 2,310.00 m ² 地上1F S造 実施設計段階評価 2011年9月28日	
-------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--

2. CASBEE新潟の評価結果

	B+	$BEE = \frac{Q \text{ 建築物の環境品質}}{L \text{ 建築物の環境負荷低減性}} = \frac{50}{35} = 1.4$
S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★ C: ★		

3. 新潟市の重点項目の評価

重点項目	平均スコア	評価	項目	スコア
1. 長寿命化の取組み 誰もがずっと安心して生活するために	4.7		バリアフリー	Q2.1.1.3 -
			維持管理	Q2.1.3 -
			更新性	Q2.3.3 4.7
2. 地震への取組み かけがえのない人命、財産、思い出を守るために	3.0		耐震・免震	Q2.2.1 3.0
			信頼性	Q2.2.4 3.0
3. 大雨への取組み 大雨につよいまちづくりのために	3.0		雨水排水負荷低減	LR3.2.3.1 3.0
4. 自然エネルギー利用の取組み 地球温暖化対策のために	3.0		建物の熱負荷抑制	LR1.1 -
			自然エネルギー利用	LR1.2 3.0
5. 資源循環の取組み 持続可能な循環型社会づくりのために	3.0		節水	LR2.1.1 -
			リサイクル材の使用	LR2.2.4 1.0
			再利用可能性向上	LR2.2.6 5.0
6. 水と緑を活かす取組み 豊かな田園空間を次世代に引き継ぐために	2.0		生物環境の保全・創出	Q3.1 1.0
			敷地内温熱環境の向上	Q3.3.2 3.0
7. 新潟のまちなみへの取組み 地域の魅力を伝承・創造していくために	3.0		まちなみ・景観への配慮	Q3.2 3.0
			地域性への配慮、快適性の向上	Q3.3.1 3.0

4. 新潟市の重点項目の配慮事項

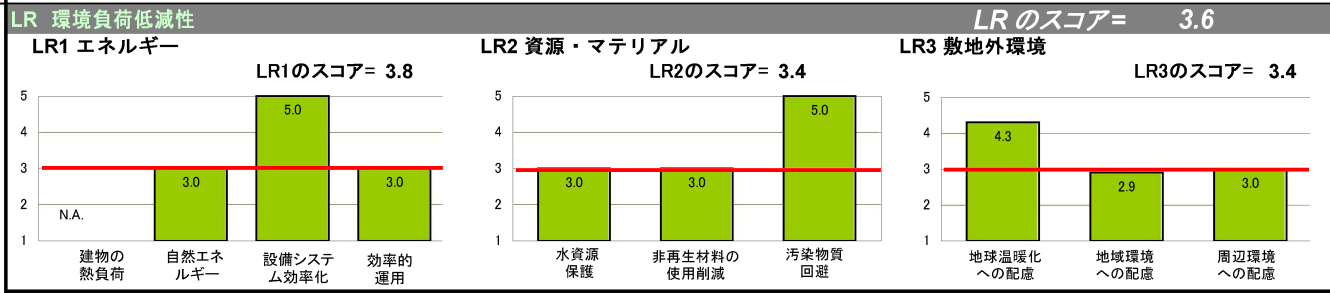
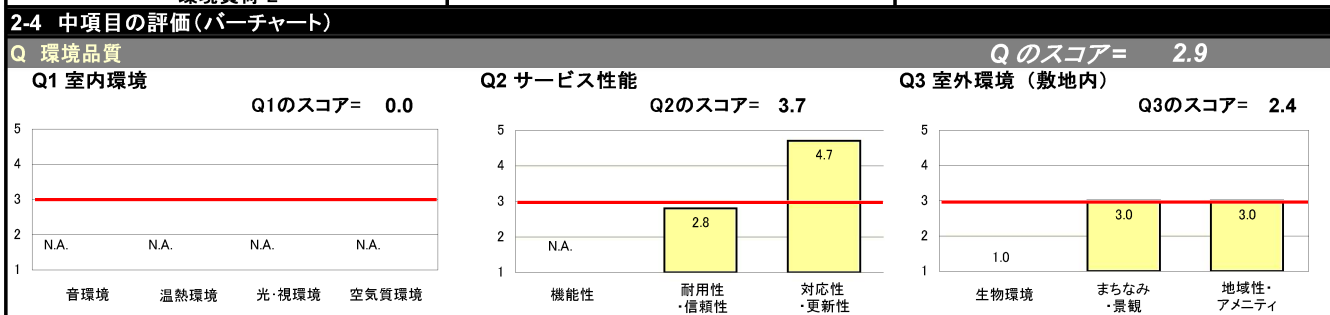
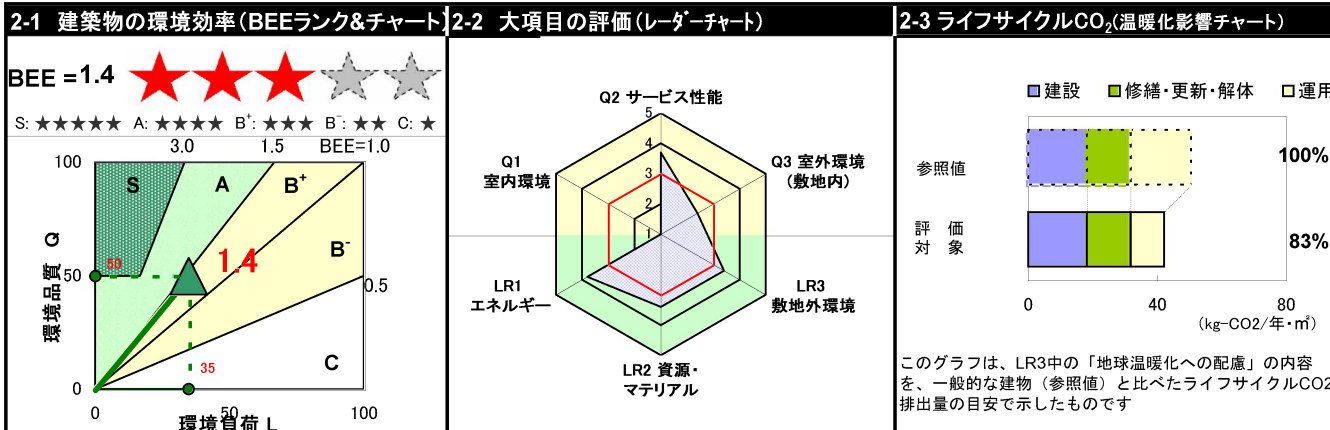
1.長寿命化の取組み(設備の更新性):設備の更新性に配慮した内装計画を行った。
 2.地震への取組み(信頼性):床高さを地盤面より1.18mとした計画とした。浸水等による災害に対し電気設備、通信設備の破損を回避できる計画とした。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

CASBEE®新潟

評価結果内訳

■使用評価マニュアル: CASBEE新潟マニュアル、CASBEE-新築(簡易版)2008年版 使用評価ソフト: CASBEE新潟(v.1.2)



2-5 設計上の配慮事項

総合	その他	
本計画建物の用途は物流倉庫である。新潟東港に近い地域にあり国際物流の拠点として位置づけされる。物品の保管と流通を速やかに行う為の車両導線を計画段階から考慮し敷地の有効活用を図った。		
Q1 室内環境 基本的には、物品の保管で有る為、居室的な室内環境は計画していない。保管する物品は長期の保管ではないが、急激な温度変化による品質の劣化を避ける為、屋根に断熱性能を有する材料を設置し、極端な環境変化を避ける計画とした。	Q2 サービス性能 庫内の床の段差・勾配を排し、物品の運搬作業の効率を計った。荷捌きスペースとなるプラットフォームと庫内とを隣接させ作業効率の向上を計った。	Q3 室外環境 (敷地内) 着岸する車両を概ね覆う事の出来る広範囲の庇を計画し、荷捌き作業時の効率化を計ると共に敷地内の風通しに寄与する効果を計った。
LR1 エネルギー 省エネ法に準じた照明設備を計画し、高効率化を計った。	LR2 資源・マテリアル 非再生性資源の使用量の削減を計る為、鉄骨の強度に配慮した。仕上材等に用いる材料に汚染物質含有材料の使用を回避する配慮を行った。	LR3 敷地外環境 北側に配置した庇は、敷地内の日影の形成に寄与し、敷地外への熱的な影響を低減する効果を計った。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される
 ■LCCO₂の算定条件等については、「LCCO₂算定条件シート」を参照されたい